

## 平成30年度 岡山県立笠岡高等学校 学校経営の具体的計画

本年度の重点目標	分掌	本年度の重点目標を達成するための課・学年での重点目標 (めざす具体的な姿)	本年度の重点目標を達成するための課・学年内での具体的方策 (教育活動)	評価基準
1 自ら学ぶ意欲を高め、確かな学力を養う指導の進化	教務課	「千鳥型学習指導のスタンダード」に基づく授業の実践、および継続的な指導の改善を推進する。	6月の校内互見授業と11月の公開授業において、授業実践の成果と課題を教員間で共有できるよう、指導改善の意見交換につながる枠組みを再構築する。	授業参観シートの該当項目の評価の平均値で評価 「(項目未定)」 肯定的な割合 4: 80%以上 3: 70%以上 2: 60%以上 1: 60%未満
	教務課	単位制への改編に向けて、教科・科目の具体的な学習内容の検討や、成績認定基準など内規の整備を、計画的に進める。	進学重視型単位制や学校設定教科・科目について、1学期前半に先進校を視察し、その後、運営委員会で内規を、教育課程委員会で具体的な学習内容を協議する。	進捗状況で評価 4: 90%以上 3: 80%以上 2: 70%以上 1: 70%未満
	進路課	大学入試問題研究を推進し、効果的な受験指導ができる教科指導力の向上を図る。	校内の大学入試問題研究会や予備校が開催する大学入試研究会参加後の研修会を教科ごとに年3回以上開催する。	教科アンケートによる5教科の実施回数の平均値で評価。 (昨年度:各教科平均2回) 4: 3回以上 3: 2回以上 2: 1回以上 1: 1回未満
	進路課	教科カウンセリングの充実を図る。	個人添削、土曜開放講座、特別補習等で、難関大やブロック大向けの講座を実施する。  定期考査前に実施する放課後の質問教室や土曜開放講座での補充講座の充実を図る。	生徒アンケートで評価。 「あなたが受講した個人添削・特別講座は学力向上に役立っている。」 ①とても役立っている ②役立っている③あまり役立っていない ④役立っていない ①+②の割合(昨年度:95%) 4: 95%以上 3: 90%以上 2: 85%以上 1: 85%未満  生徒アンケートで評価。 「あなたが参加した定期考査前の質問教室や土曜日の補充講座は学力向上に役立っている。」 ①とても役立っている ②役立っている③あまり役立っていない ④役立っていない ①+②の割合 4: 95%以上 3: 90%以上 2: 85%以上 1: 85%未満
進路課	現1年生が受験する、新大学入試の研究を推進する。	新大学入試にかかわる研究会に参加したり、校内研修会を実施したりすることで、新入試の制度や入試問題についての研究を進め、進路指導や授業の改善を行う。	学校評価アンケート(教職員)で評価。 「笠岡高校の教職員は、校内外における研修会などを通じて、スキルアップに努めていると思いますか。」 ①はい・そう思う ②だいたいそう思う③あまりそう思わない ④いいえ・そう思わない ⑤わからない ①+②の割合(昨年度:88%) 4: 95%以上 3: 90%以上 2: 85%以上 1: 85%未満	
図書情報課	自らの興味関心や学習内容を深めたり広げたりするよう、生徒に図書を活用させる。	教科等と連携した書籍を選定・購入・配置し図書館内外で日常的に活字に親しむ環境を整える。	貸出冊数の増加率で評価。 (昨年度:2453冊) 4: +15%以上 3: ±0%以上 2: -15%以上 1: -15%未満	
		図書委員により読書会等のイベント情報などを発信し読書活動を充実させる。	図書貸出スタンプラリー参加者数で評価。 4: 60名以上 3: 45名以上 2: 30名以上 1: 30名未満	
1年	家庭学習の重要性を認識し、自ら学ぶ意欲を高め、3年間の基礎となる学力を培う。	個人面談や課題、予習・復習の取り組みに対する指導を徹底し、学習習慣の確立を図る。	学習実態調査の1週間の平均学習時間で評価。 (昨年度1年生:1月189分) 4: 220分以上 3: 180分~220分 2: 140分~180分 1: 140分未満	

平成30年度 岡山県立笠岡高等学校 学校経営の具体的計画

本年度の重点目標	分掌	本年度の重点目標を達成するための課・学年での重点目標 (めざす具体的な姿)	本年度の重点目標を達成するための課・学年内での具体的方策 (教育活動)	評価基準
	1年		各種テストの振り返りや土曜日開放講座の充実、習熟度別の課題の提供などきめ細やかな指導を展開する。	校外模試の全国偏差値平均で、第1回結果を基準にしてそれ以降の増減で評価。 4: +3 以上 3: ±0 ~ +3 2: -3 ~ ±0 1: -3 以下
	2年	授業を中心とした5教科型の学習習慣を身につけ、主体的に学ぶ集団の育成を図る。	HRや集会、生徒面談を通して、規則正しい生活習慣とバランスのとれた学習習慣を形成するよう促す。	学習実態調査の1週間の平均学習時間で評価。 (1年次: 第4回学習実態調査189分) (昨年度2年生: 1月192分) 4: 240分以上 3: 200分~240分 2: 160分~200分 1: 160分未満
			各種テストの振り返りや土曜日開放講座・質問教室への積極的参加を呼び掛ける。	土曜日開放講座の平均参加者数で評価。 (昨年度: 平均256名) 4: 300名以上 3: 250名以上 2: 200名以上 1: 200名未満
	3年	進路実現に向けた学習手法を確立し、受験に対応できる学力を育成する。	クラスにおける集団づくり・生徒面談・8限補習・土曜日開放講座等を充実させる。	学校評価アンケート(生徒3年生)で評価。 「笠岡高校の教育は、あなたの学力を最大限に伸ばすものになっていると思いますか。」 ①はい・そう思う ②だいたいそう思う③あまりそう思わない ④いいえ・そう思わない ⑤わからない ①+②の割合 (昨年2年次: 生徒75%) 4: 80%以上 3: 75%以上 2: 70%以上 1: 70%未満
			HRや集会、生徒面談を通して、第一志望合格へ向けた学習への取り組みを啓発する。	学習実態調査の1週間の平均学習時間で評価。 (2年次: 第4回学習実態調査192分) (昨年度3年生9月294分) 4: 300分以上 3: 240分~300分 2: 180分~240分 1: 180分未満
2 志を育むキャリア教育の推進	進路課	新ACTプログラムを軸としたキャリア教育を推進する。	新ACTプログラムについて教員間の共通理解を図り、効果的に実施する。また、実施後速やかに検証を行い、プログラムの改善を図る。	学校評価アンケート(教職員)(生徒)で評価。 「笠岡高校は、総合的な学習の時間(ACT)などを利用して、将来の進路や生き方について、考えを深めさせるように、計画的に指導ができていますか。」 ①はい・そう思う ②だいたいそう思う③あまりそう思わない ④いいえ・そう思わない ⑤わからない ①+②の割合 (昨年度: 教職員90%・生徒88%) 4: 教職員・生徒ともに95%以上 3: 教職員・生徒ともに90%以上 2: 教職員・生徒ともに80%以上 1: 教職員・生徒いずれか80%未満
	進路課	3年間を見通した進路指導により、生徒が早期に志望校を固め、進路実現に向けて努力する姿勢を身につけさせる。	進路シラバスに則って、生徒面談、ACT、LHR、集会を実施し、効果的な進路指導を行う。	学校評価アンケート(生徒)(保護者)で評価。 「笠岡高校は、面接などを利用して一人ひとりの生徒に応じた進路指導を行っていると思いますか。」 ①はい・そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない ④いいえ・そう思わない ⑤わからない ①+②の割合 (昨年度: 生徒88%・保護者85%) 4: 生徒・保護者ともに90%以上 3: 生徒・保護者ともに85%以上 2: 生徒・保護者ともに80%以上 1: 生徒・保護者いずれか80%未満

## 平成30年度 岡山県立笠岡高等学校 学校経営の具体的計画

本年度の重点目標	分掌	本年度の重点目標を達成するための課・学年での重点目標 (めざす具体的な姿)	本年度の重点目標を達成するための課・学年内での具体的方策 (教育活動)	評価基準	
3 主体性と挑戦する力を育てる活動の充実	総務課	多様な学習機会を提供し、活動とおして、課題を発見し解決する力の向上を図る。	オープンスクールや千鳥ゼミ、学校説明会で生徒が主体的に活動する場を設ける。	オープンスクールや千鳥ゼミ、学校説明会に運営スタッフとして参加した生徒数で評価。(昨年度132名) 4: 160名以上 3: 140名以上 2: 120名以上 1: 120名未満	
	生徒課	ホームルーム活動や生徒会活動(各種委員会や学校行事等)への生徒の主体的な参加を促す。	新入生歓迎行事や球技大会等を実行委員や体育委員を中心に生徒が主体的に取り組む学校行事にしていく。また、できるだけ多くの委員会で、生徒の主体的な活動に取り組ませる。	学校評価アンケート(生徒)で評価。「ホームルーム活動や生徒会活動(各種委員会や学校行事等)に、生徒が主体的に参加していると思いますか。」 ①はい・そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない ④いいえ・そう思わない ⑤わからない ①+②の割合 (昨年度: 生徒82%) 4: 90%以上 3: 80%以上 2: 70%以上 1: 70%未満	
	生徒課	挨拶を励行し、生徒、教員、地域の方々等と好ましい人間関係を構築する。	生活委員会を中心に、生徒の主体的活動を促し、改善を図る。	学校評価アンケート(生徒)で評価。「笠岡高校の生徒は、学校内や地域で、積極的に挨拶ができていますか。」 ①はい・そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない ④いいえ・そう思わない ⑤わからない ①+②の割合 (昨年度: 生徒52%) 4: 65%以上 3: 55%以上 2: 40%以上 1: 40%未満	
	生徒課	ボランティア活動や社会貢献活動への積極的な参加を促し、社会へ寄与することの大切さを認識させる。	千鳥ボランティア、各種ボランティア活動、校外の地域の活動等への積極的な参加を呼びかける。	千鳥ボランティア(2回)へののべ参加者数で評価。(昨年度: のべ554名) 4: 570人以上 3: 510人以上 2: 450人以上 1: 450人未満	
	進路課	校内外の様々な学習機会に挑戦させ、切磋琢磨しながらお互いを高め合う力を育む。	難関大学訪問や研究室訪問、大学主催の学習会・コンクール、医療・看護体験等の職業体験の案内等を計画的に行い、生徒の校外での学習活動への積極的な参加を促す。	参加者数の増加率で評価。(昨年度: 参加総数136名) 4: +10%以上 3: +5%以上 2: -5%以上 1: -5%未満	
	健康環境課	整美・保健・福祉の各委員会で、生徒から活発に要望・提案・企画などが出され、それが反映された活動を実施する。	委員会の担当する業務に対する関心や課題意識を高めるため、各委員会を学期1回以上開催し、新しい取り組みを行う。	各委員会活動における新しい取り組みの有無で評価。 4: 3つの委員会で新しい取り組みが実施できた 3: 2つの委員会で新しい取り組みが実施できた 2: 1つの委員会で新しい取り組みが実施できた 1: 新しい取り組みができなかった	
	図書情報課		図書委員が主体的に図書に関わり活動するよう、委員会活動の充実を図る。	カウンター当番や蔵書整理など通常の図書委員の仕事を継続的に行う。	図書委員会やカウンター当番、読書会における図書委員の参加率で評価。 4: 90%以上 3: 80%以上 2: 70%以上 1: 70%未満
			図書委員が地域と連携した図書活動を企画・運営する。	学童クラブとの交流回数で評価。(昨年度: 3回) 4: 4回以上 3: 3回 2: 2回 1: 1回以下	